

愛媛県NPO法人育成支援事業申込書

ふりがな 団体名	(中間支援組織の名称) 特定非営利活動法人えひめリソースセンター (運営受託や指定管理の場合は運営団体の名称を追記してください)		
ふりがな 代表者 職氏名	(中間支援組織における代表者の職氏名) 理事長 泉谷 昇 (運営団体の代表者が上記と異なる場合は追記してください)		
設立年月日	(中間支援組織の設置)	2013年 7月 16日	
	(運営団体の設立)	2013年 7月 16日	
事務所 所在地	(中間支援組織の住所) (〒 790-0003) 住所：松山市三番町6丁目1-8 TEL： 089-934-5158 FAX：089-934-5158 HPアドレス：http://www.seed.ehime.jp/ (運営団体の住所が上記と異なる場合は追記してください)		
担当者の 連絡先	*通常、連絡がとれる携帯番号やメールアドレスを記載してください。 住所： _____ TEL： _____ FAX： _____ 担当者名： _____ Eメールアドレス： _____		
職員の状況 ※中間支援組織業 務に従事する人 数のみ記載して ください	常勤職員		1 人
	その他職員		1 人
会報誌の有無	有	ホームページの有 無	有
ホームページ有の場合、 そのアドレス	http://www.seed.ehime.jp/		

※ 貴団体が作成している広報誌・会報誌等があれば添付してください。

(別紙2)

平成27年度愛媛県NPO法人育成支援事業
【地域協働推進活動助成】企画提案書

平成 27年 6月 12日

次のとおり、標記事業について、企画提案書を提出します。

申請者	団体名	特定非営利活動法人えひめリソースセンター
総事業費及び 希望する県補助金額	総 事 業 費 (うち希望補助金額)	303,900 円 300,000 円)
事業概要	申請事業の概要を 100~200 字程度にまとめて記載してください。 地域の魅力を目的に沿って適切にブランディングし、地域住民と協力して発信し、事業化する力を付けるために、全国でもU・Iターンや視察・研修の受け入れが多いことで注目されている海士町で活躍されている巡の環代表取締役阿部裕志氏をお招きし、セミナーおよびワークショップを開催する。	
事業実施期間	平成27年 9月 1日から平成28年 2月28日まで	

1 目的・目標	<p>(1) 事業の背景となるNPO法人等の課題やニーズ等について記載してください。</p> <p>県内各地のNPO法人は、それぞれの地域で課題を発見し解決に取り組んでいるが、企業やほかの地域の人との協働事例は少ない。しかし、NPO法人単独では事業規模や社会に与える影響も限られてくることから、社会へのインパクトを大きくするためにも他のセクターとの協働が必要である。</p> <p>NPO法人からも企業との協働に取り組みたいとの要望は聞くが、企業側のメリットやニーズの把握ができておらず、広告や協賛で終わってしまう場合が多い。今後NPOの活動がより多くの人に共感を得て、活動を進化させていくためには、協働の進め方を学ぶことが必要である。</p> <p>また、企業側からも、地域に根ざした社会貢献活動を実施したいという要望が寄せられており、NPO法人への関心は高まっているものの、NPO法人との接点機会が少ないため、なかなか協働に踏み出せない現状がある。</p> <p>NPOが協働の効果と方法について学び、協働事業を提案する力を身につければ、協働による地域の課題解決が促進される。</p>
	<p>(2) 課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。</p> <p>海士町(あまちょう)は島根県の沖に浮かぶ隠岐諸島の中の中ノ島にある町で、人口は約2300人である。そこに、2004年から2012年の間に361人がIターンし、企業や自治体から「地域活性化」のモデルとして注目を集めている。</p> <p>その海士町で活動する『(株)巡の環(めぐりのわ)』は、海士町にある資源と課題を発見し、企業や訪れる島外の人たちの力をうまく使って海士町をブランド化し、地域経済を活性化している。</p> <p>愛媛県においても、NPOと自治体と企業が別々に地域活性化に取り組むのではなく、お互いの持つ資源(人、モノ、お金、情報等)を組み合わせることで地域課題解決に向けて取り組む必要がある。</p>

	<p>しかし、県内では継続的な協働事例が少ないことなどから、多くのNPOや企業が希望はあるものの取り組み方が分からない状態である。</p> <p>そこで海士町の取組における協働の事例を講演してもらい、また協働を進めるための実践的なワークショップを実施することで、県内のNPO法人とその他のセクターの協働推進を図る。</p>
	<p>(3) 事業の目標 (NPO法人等の事業力及び運営能力の向上について期待される成果) を記載してください。</p> <p>異なるセクターが協働するためには、自らがもつ資源 (人、モノ、お金、情報等) や強み (得意とするもの、すでにノウハウ等を持っているもの)・弱み (苦手とするもの、アプローチできていない分野等) を明確にするとともに、相手を取り巻く環境や立場を理解し、お互いに強みを活かせるように計画する必要がある。さらに、アクションプランを作成することがゴールではなく、実際に行動し、結果を出すことが重要である。</p> <p>そのためには、ビジョン (=理想とする姿) をしっかり共有し、「何をするか?」ではなく「なぜやるのか?」を明確にした上で、その実現に向けてのアクションを計画し、実施する力を身につけることが必要である。</p> <p>この事業では、立場の異なる人たちの中でのビジョンの共有方法や、アクションプランを作っていくプロセスなど、協働推進に必要な「巻き込み力」と「プロセスデザイン力」について学ぶ。</p> <p>それにより、参画している人の主体性を高めることができ、実行に向けた推進力が高まり、その成果もよりよいものとなる。また、それらはNPO法人の組織基盤強化や、他のプロジェクトにおいても応用可能であり、NPO法人の事業力を向上することができる。</p>
	<p>(4) 目標達成のために工夫する点を記載してください。</p> <p>協働を推進する第一歩は、立場の違いによる組織構造や意識の違いをお互いが理解し、尊重する意識を持つことである。</p> <p>この事業では、その点を重視し、NPO法人だけでなく企業等からの参加も募り、一緒にワークショップを行うことで、異なるセクターへの理解が深まるようにする。</p> <p>セミナー後はNPO法人のプロジェクトの企画立案や協働事業の提案、企業からの協働提案をえひめリソースセンターで受け付け、継続して支援する。</p> <p>また、数カ月後に事後アンケートを実施し、セミナーを受講したことによる成果や今後の要望等をヒアリングする。</p>
<p>2 実施体制</p>	<p>貴団体及び協働して事業に取り組む各主体等を含めた事業の実施体制について記載してください。</p> <p>主催：特定非営利活動法人えひめリソースセンター 協力：株式会社巡の環 (http://www.megurinowa.jp/)</p>
<p>3 スケジュール</p>	<p>事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。 (※別紙添付でもかまいません。)</p> <p>9月 事業打合せ 10月もしくは11月 セミナー実施 (13時~17時) 予定 1月 参加団体・企業等に事後アンケート、フォローアップ 2月 報告書作成</p>

(団体名：特定非営利活動法人えひめリソースセンター)

事業収支計画書

1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
助成金	300,000	愛媛県 (NPO法人育成支援事業)
自主財源	3,900	
収入計	303,900	

2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
講師謝金	150,000	講師謝金
旅費交通費	50,000	講師旅費交通費
スタッフ交通費	1,500	会場駐車場代等
補助員費	10,000	1,000円/h×5h×2名
役務費		
チラシデザイン	20,000	
郵送	27,400	県内NPO法人等400団体×64円 (特約ゆうめーる利用) レターパック360円×5
需要費		
消耗品	10,000	付箋、コピー用紙等
印刷	20,000	A4両面カラー1500枚
賃借費		
会場費	15,000	松山市内会議室
支出計	303,900	

※ 申請しようとする事業に係る収支計画 (見込) を記載してください。

* 団体全体の事業計画ではないのでご注意ください。

講師プロフィール

株式会社 巡の環 代表取締役
阿部 裕志 (あべ ひろし)

愛媛県生まれ愛知県育ち。京都大学大学院(工学研究科)修了後、トヨタ自動車入社。生産技術エンジニアとして新車種の立ち上げ業務に携わる。しかし現代社会の在り方に疑問を抱き、新しい生き方の確立を目指して入社4年目で退社。2008年1月、「持続可能な未来へ向けて行動する人づくり」を目的に株式会社巡の環を仲間と共に設立。2011年4月より海士町教育委員に就任。大学在学中から自給自足できるようになることを目指し、アウトドアや農業を通して大自然の雄大さ、命のありがたみを学ぶ。海士に来てからは素潜りにハマる。

株式会社巡の環について

《設立》2008年1月29日

《所在地》島根県隠岐郡海士町大字海士1700-2

《社員数》7名

《取り組み》

巡の環の活動の目的は、島根県隠岐国・海士町を舞台に「これからの新しい生き方」を学ぶ学校づくりです。

取り組み内容では、その活動を次の3つの軸で閲覧していただけるようにしております。

海士町がこれからの社会のモデルとなるための「地域づくり事業」

社会のモデルとしての海士町から学ぶための「教育事業」

海士町で学んだことを社会全体に伝えるための「メディア事業」

(巡の環ホームページ <http://www.megurinowa.jp/>より)

□主な事業

・めぐりカレッジ ・海士五感塾 ・コミュニティ農園 ・海士webデパート(物販)

□最近の講演・登壇・メディア掲載

・フジテレビ「NON FIX」『われら平成の開拓団～過疎の町から吹く変革の風～』

・「Google Atmosphere Tokyo 2015」登壇

【働き方】地域創生と新しい働き方

第二部 イノベーション東北 ローカルではじまる新しい働き方

・「新価値創造展 2015 in Kansai 特別講演」登壇